



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

新宿区

令和5年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和5年2月13日

事業名	AIオンデマンド交通の実証実験
取材先	みどり土木部交通対策課長 小菅（電話 03-5273-4264）

友好提携都市「伊那市」の先行事例

- 伊那市では、AIが効率的な運行ルートを判断するAIオンデマンド交通を運行しています。
- 車両はワンボックスカー等の車両が使われています。



民間事業者を活用したAIオンデマンド交通の実証実験を目指します

～区民の移動手段のさらなる充実を図ります～

【AIオンデマンド交通とは】

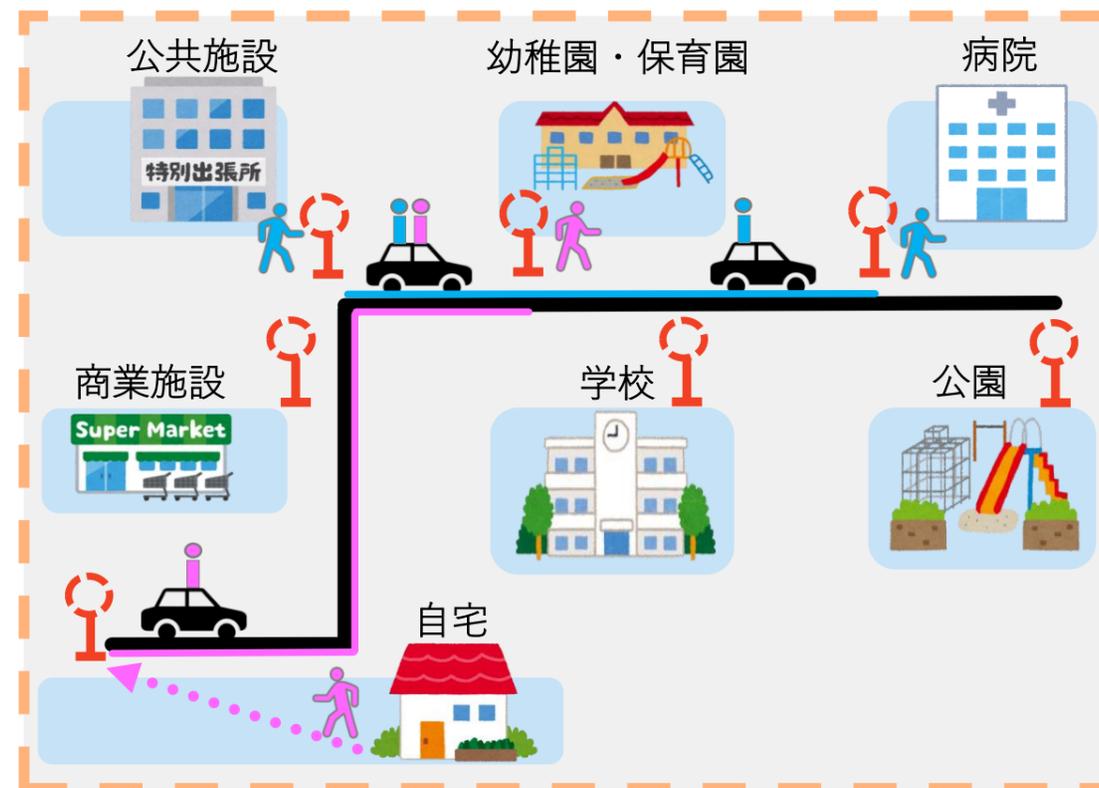
- AIを活用した効率的な運行ルートの選定と利用者のニーズに応じた柔軟な運行
 - 運行エリアを設定
 - アプリまたは電話による配車予約
 - 同じ方向に向かう利用者を相乗りとすることで低コストを実現
 - 乗降場所として仮想停留所※を設定
- ※仮想停留所とは、現地に停留所はなく、アプリの地図上に設定されるもので、公共施設、商業施設、病院、保育園及び学校などの近くに設定します。

【効果】

- 身近な施設への近距離移動の利便性が向上
- 高齢者や障害者、子育て世帯等のための新たな移動手段として利用を想定

【運行エリア等について】

- 運行エリアは約4～9kmの範囲を想定
- 仮想停留所は、運行エリア内で200～300mに1箇所の間隔で設定



(凡例)

- 運行エリア
- 仮想停留所



検討

運行エリア等の検討

地形、既存交通の運行状況、人口分布、施設の配置等を考慮しながら検討します。

調整

既存交通事業者との調整

既存交通事業者とエリア設定等を調整しながら進めていきます。

準備

地域公共交通会議の開催

関係機関等と運行エリア、料金及び仮想停留所等について調整を図ります。

国土交通省へ申請

実証実験開始